

香川大学教育学部附属坂出中学校で、 生徒の探究をサポートしました

5月12日(月)、教育創造コースの2年生は、附属坂出中学校の**共創型探究学習「CAN」**に参加しました。

共創型探究学習「CAN」とは、

Cluster (異学年合同の小集団)

Action Learning (お互いに質問)

Narrative Approach (語る・振り返る)

による探究的な学びのこと。

今年は、生徒自身が考え付いた 95 個のテーマを、生徒たちが思い思いのやり方で探究しています。

探究の成功が目的ではなく、探究を通じた学びが実現されることを目的としています。(附中 逸見先生より)



「問うかわり」を心がけて活動しました

☆知識を教えるのではなく、尋ねることで考えるきっかけを作るように。

☆当たり前と思い込んでしまっていることを疑って、新しい、自分なりの答えを作り出せるように。

「本当にそうかな?」「試してみたら?」

「うまくいかないのはどうしてかな?」

「それは全てにあてはまることかな?」

活動の感想

- 私では思いつかないような、面白くて結果が気になる探究内容。話を聞いてとても楽しかった。
- どの生徒も自分たちの探究内容に自信を持っていて、何を質問しても想像以上の熱量と言葉の紡ぎ方で、目を輝かせながら答えてくれた。
- 一人一人にコミュニケーション力や創造力を感じた。
- 先生方はどの班がどう行き詰っていて、どのように進んでいるのかを全て把握していたので驚いた。
- 疑問に思ったことを素直にたくさん質問できたことがよかった。
- 無理に話を広げようと焦ってしまった。生徒がもっと気軽に話すことのできる雰囲気を作るにはどうしたらよいのかを考えたい。
- 中学生のチャレンジを認め、良いと思ったところはしっかりと伝えることができた。
- 質問をしたら「確かに!」と言われてやりがいを感じた。

